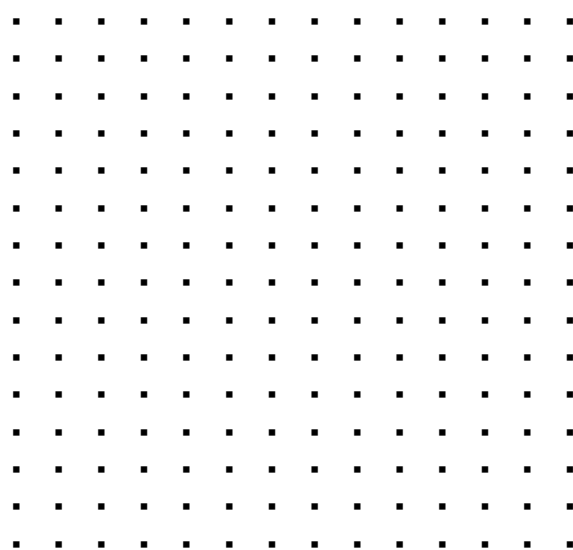


令和 4(2022)年度

中原悌二郎記念
旭川市彫刻美術館
年報



目次

展示事業	2
I 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館	2
1 常設展	2
2 企画展「素材へのアプローチ-中原悌二郎賞受賞作家の金属彫刻から」	3
3 旭川彫刻フェスタ 20 周年記念展	4
4 企画展「生誕 100 年 藤川叢三展」	5
5 企画展「触覚空間を描く-彫刻家のデッサン-」	6
II 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館ステーションギャラリー（分館）	8
1 企画展「樹木との対話-北の彫刻家たち-展」	9
2 企画展「生き続けるモダニズム建築」展	9
3 旭川彫刻フェスタ 20 周年記念展	10
4 企画展「デザインの原形〜プリミティブからデザインへ〜」	10
5 企画展「生誕 100 年 藤川叢三展」	10
6 企画展「ひろげて、座って、おりたたむ 世界のフォールディングチェア-織田コレクションから-」	11
7 企画展「彫刻家による版画の世界」	12
教育普及活動	13
彫刻巡回展示事業	15
中原悌二郎賞関係事業	16
旭川彫刻フェスタ	17
野外彫刻維持管理事業	17
その他の事業	18
印刷物の発行	18
中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館協議会	18
管理作品	18
ボランティアの会「みゆうず」	22
観覧者数	22

展示事業

Ⅰ 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館

旭川市彫刻美術館は、日本の近代彫刻史に優れた業績を残した旭川ゆかりの彫刻家「中原悌二郎」を記念した彫刻専門の美術館として 1994（平成 6）年に開設された。

悌二郎が残した全 12 点の彫刻を中心に、悌二郎に大きな影響を与えたロダン、萩原守衛の作品や旭川ゆかりの彫刻家の作品、旭川市が 1970（昭和 45）年に悌二郎の優れた業績を世間に広く知らせるとともに、日本の彫刻界の発展に貢献する目的でつくられた「中原悌二郎賞」の受賞作品等を所蔵している。

彫刻美術館本館では、常設展示のほか、1 階企画展示室において収蔵作品による企画展や道内の作家による企画展を行った。

1 常設展

■会期 令和 4 年 4 月 1 日（金）～令和 5 年 3 月 31 日（金）

■開催日数 317 日間

■展示作品数 彫刻 55 点（期間中一部展示替えあり）

■観覧者数 4,100 名（一般 2,354 人／高校生 31 人／中学生以下 716 人／70 才以上市民 112 人／免除 887 人）

	作者名	作品名	制作年	材質	寸法(高×幅×奥行cm)	備考
1	西野 康達	Sky Memory 'sprit'	2015(平成27)	チタン合金, チタン, ステンレス	13×810×96	1階ロビー 第42回中原悌二郎賞 代替作品
2	中原 悌二郎	女の顔	1910(明治43)	ブロンズ	26×19.5×14	
3	中原 悌二郎	老人	1910(明治43)	ブロンズ	57×35.5×35.5	
4	中原 悌二郎	エチュード	1914(大正3)	ブロンズ	12×15×10.5	
5	中原 悌二郎	保田龍門像	1915(大正4)	ブロンズ	38.5×24×27	
6	中原 悌二郎	坪井経蔵像	1916(大正5)	ブロンズ	37.5×18×22.5	
7	中原 悌二郎	石井鶴三像	1916(大正5)	ブロンズ	39.5×23×21	
8	中原 悌二郎	墓守老人像	1916(大正5)	ブロンズ	60×36×43	
9	中原 悌二郎	三宅辨次郎像	1916(大正5)	ブロンズ	34.5×19×23.5	
10	中原 悌二郎	乞食老人像	1918(大正7)	ブロンズ	51.5×31.5×32	
11	中原 悌二郎	平櫛田中像	1919(大正8)	ブロンズ	38×26×22	
12	中原 悌二郎	憩える女	1919(大正8)	ブロンズ	31×35.5×15	
13	中原 悌二郎	若きカフカス人	1919(大正8)	ブロンズ	42×18.5×18.5	
14	オーギュスト・ロダン	ジャン・デールの裸体習作	1886～89頃	ブロンズ	103×30×25	
15	荻原 守衛	坑夫	1907(明治40)	ブロンズ	47×46.5×33.5	
16	佐藤 忠良	カンカン帽	1975(昭和50)	ブロンズ	60×51.5×40	第6回中原悌二郎賞
17	一色 邦彦	ひびき	1972(昭和47)	ブロンズ	30×40×30	第4回中原悌二郎賞優秀賞
18	福岡 道雄	九頭竜ダム	1976(昭和51)	ポリエステル, 木	67.5×150×59	第8回中原悌二郎賞優秀賞
19	板井 祐一	レダ	1976(昭和51)	ブロンズ	110×60×115	第10回中原悌二郎賞
20	掛井 五郎	ハンザイ・ヒル	1976(昭和51)	ブロンズ	130×58×23	第7回中原悌二郎賞優秀賞
21	吉田 芳夫	白道	1976(昭和51)	ブロンズ	71×31×33	第7回中原悌二郎賞
22	加藤 昭男	天を支える	1981(昭和56)	ブロンズ	169×92×95	
23	細川 宗英	道元	1972(昭和47)	ブロンズ, 義眼	169×50×53	第3回中原悌二郎賞優秀賞
24	池田 宗弘	一番近くの巨人に突っこんだ	1983～87(昭和58～62)	真鍮	225×80×30	第17回中原悌二郎賞優秀賞
25	木内 克	婦人誕生	1970(昭和45)	ブロンズ	183×50×40	第1回中原悌二郎賞
26	岩野 勇三	なほ	1983(昭和58)	ブロンズ	128×48×50	第17回中原悌二郎賞
27	山本 正道	風と少女	2000(平成12)	大理石	88×70×60	第31回中原悌二郎賞 代替作品
28	橋本 裕臣	丘の上のかたち	1991(平成3)	テラコッタ	140×90×140	第22回中原悌二郎賞優秀賞
29	秦川 典美	ほかい人	1969(昭和44)	テラコッタ	126×42×31	第11回中原悌二郎賞
30	朝倉 響子	ニケ／NIKE	1981(昭和56)	ブロンズ	138×47.5×69	第13回中原悌二郎賞優秀賞
31	笹戸 千津子	若き立像'86	1986(昭和61)	ブロンズ	171×65×49	第18回中原悌二郎賞優秀賞
32	土谷 武	植物空間Ⅲ	1989(平成元)	チーク	231×125×125	第21回中原悌二郎賞 代替作品
33	澄川 喜一	そりとそぎのあるかたち	1980(昭和55)	樟, 桜	180×280×50	第11回中原悌二郎賞優秀賞
34	最上 寿之	ヘレケ	1976(昭和51)	カスケード松	120×90×60	第12回中原悌二郎賞優秀賞 代替作品
35	内田 晴之	重力環—地	2000(平成12)	チーク, ステンレススチール, マグネット, 塗料	226×130×130	第29回中原悌二郎賞優秀賞 代替作品
36	清水 九兵衛	CORRELATION	1999(平成11)	アルミニウム, 陶	110×164×150	第29回中原悌二郎賞 代替作品
37	古郡 弘	胞衣	2006(平成18)	木, 土, 竹, 綿布, 銅, 鉛, 紙	218×150×175	第34回中原悌二郎賞優秀賞 代替作品
38	下田 治	かみつくめす犬	1997(平成9)	コールテン鋼	230×170×80	第28回中原悌二郎賞
39	保田 春彦	聚落を囲う壁 I	1994-95(平成6-7)	鉄	170×72.9×233.4	第26回中原悌二郎賞
40	小清水 漸	レリーフ'80-4	1980(昭和55)	桂	116×253×6.5	第11回中原悌二郎賞優秀賞
41	広井 力	海の風	2000(平成12)	ステンレススチール	190×110×110	第32回中原悌二郎賞
42	深井 隆	流れゆく思念	1989(平成元)	樟, 金箔	90×72×57	第19回中原悌二郎賞優秀賞 代替作品
43	青木 野枝	原形質2014	2014(平成26)	鉄, ウレタン, 布, 石膏	2ピース	第40回中原悌二郎賞 代替作品
44	小泉 俊己	水脈(図法-1)	2010(平成22)	鉄, 木, ガラス, 銅, 鉛, 植物図鑑, 胡桃	195×133×87.5	第37回中原悌二郎賞
45	湯村 光	起源	1993(平成5)	黒御影石	87×116×25	第24回中原悌二郎賞優秀賞
46	大平 貴	Casa(家)	2007(平成19)	割って折った廃材, 楓のフレーム	125×180×180	第36回中原悌二郎賞
47	田中 薫	ビタゴラスの鳥	1979(昭和54)	プラスチック, モーター, 歯車	160×100×60	第10回中原悌二郎賞優秀賞
48	鈴木 実	妻の肖像	1979(昭和54)	ラワン	120×48×53	第16回中原悌二郎賞代替作品
49	城田 孝一郎	着衣像	1974(昭和49)	ブロンズ	103×59.5×24	第15回中原悌二郎賞優秀賞代替作品
50	鈴木 久雄	距離群	2002(平成14)	鍛造ステンレス鋼	235×165×140	第35回中原悌二郎賞代替作品
51	舟越 保武	原の城	1971(昭和46)	ブロンズ	192×55×57	第3回中原悌二郎賞
52	植松 奎二	置—浮遊の場	2010(平成22)	銅, 真鍮	50×240×50	第38回中原悌二郎賞 代替作品
53	舟越 桂	そこだけの冬	1997(平成9)	楠に彩色, 大理石, プリキ	87×37×38	1階ロビー 第26回中原悌二郎賞優秀賞 代替作品
54	保井 智貴	untitled	2004(平成16)	漆, 麻布, 模紙, 岩綿具, 膠, スペクトロライト, 大理石	160×44×28	第34回中原悌二郎賞優秀賞
55	吾妻 兼治郎	YU-847	1997(平成9)	ブロンズ	128×79×37	第30回中原悌二郎賞

2 企画展「素材へのアプローチ－中原悌二郎賞受賞作家の金属彫刻から」

■会期 令和4年2月11日(金)～令和4年7月3日(日)

■開催日数 123日間

■展示作品数 17点

■観覧者数 1,257 名（一般 728 人／高校生 17 人／中学生以下 303 人／
70 才以上市民 39 人／免除 170 人）

令和 3 年 11 月に選考した第 42 回中原悌二郎賞は、西野康造による
＜Walking in the Sky＞が受賞作品となった。西野の卓越した溶接技術や
電解着色などの手法を駆使し素材を巧みに取り扱ったこの作品は、チタ
ン合金の軽さと強さを生かした鮮鋭な作品に仕上げられている。戦後の
現代彫刻は、高度経済成長に伴う産業構造や生活書式の変化と歩調を合
わせるように新しい素材や表現方法を獲得しながら表現の幅を拡大し、
新素材と新技術を持つ特質や特性が作品の性質を決める大きな要因とな
るに至った。



ポスター

中原悌二郎賞は戦後日本の彫刻界を牽引してきた彫刻家たちが歴代の受賞者に名を連ね、賞の歴史は戦後日本彫刻史
の縮図となっている。創設初期の 1970 年代には奨励賞的位置付けの中原悌二郎賞優秀賞に金属を使った作品が見られ、
1990 年代以降は中原悌二郎賞の受賞作品にも金属を素材とする彫刻が多数見られる。これらの金属を素材とした彫刻た
ちは、使われている金属の種類も加工の技法もそれぞれ異なり、そのために作品の性質もまた多種多様なものとなっ
ている。本展では、旭川市彫刻美術館が所蔵する中原悌二郎賞受賞作家の作品群から金属を素材とした彫刻を取り上げ、
それぞれの作家がどのように素材を扱い作品を制作しているか、そして、素材の扱い方が作品の性質にどのように反映
されているかを紹介した。

展示目録						
	作者名	作品名	制作年	材質	寸法（高×幅×奥行 cm）	備考
1	保田 春彦	作品	1969-70	ステンレス	190×27×65	第 2 回中原悌二郎賞 彫刻の森美術館賞
2	小田 襄	円柱と方形の要素	1979	ステンレススチール	99×26×23	第 8 回中原悌二郎賞優秀賞代替
3	向井 良吉	GARONNEの旅から	1984	白銅	50×40×30	第15回中原悌二郎賞
4	建畠 覚造	CLOUD-4	1981	ジュラルミン	92×70×12	第12回中原悌二郎賞
5	若林 奮	100粒の雨滴Ⅲ	1977-79	銅、真鍮	8×100×100	第 9 回中原悌二郎賞優秀賞
6	土谷 武	虫Ⅲ-a	1975	鉄	100×70×50	第 6 回中原悌二郎賞優秀賞
7	湯原 和夫	門	1972	真鍮	37×36.5×36.5	第 3 回中原悌二郎賞優秀賞
8	植松 奎二	置－浮遊の場	2010	銅、真鍮	50×240×50	第38回中原悌二郎賞代替
9	植松 奎二	3つのかたち－垂・傾	1997	銅、ワイヤーロープ	203×126×75	第28回中原悌二郎賞優秀賞
10	青木 野枝	空の粒子2009－Ⅱ	2009	鉄（コールテン鋼）	158×165×104	
11	鈴木 久雄	距離群	2002	鍛造ステンレス鋼	235×165×140	第35回中原悌二郎賞代替
12	鈴木 久雄	距離片 旭川No.1	2006	鍛造ステンレス鋼	15.9×15.2×11.5	
13	鈴木 久雄	距離片 旭川No.2	2006	鍛造ステンレス鋼	17.9×10.5×12.7	
14	鈴木 久雄	距離片 旭川No.3	2006	鍛造ステンレス鋼	17.7×17.5×12	
15	鈴木 久雄	距離片 旭川No.4	2006	鍛造ステンレス鋼	11.2×7×12.7	
16	鈴木 久雄	距離片 旭川No.5	2006	鍛造ステンレス鋼	7.7×9×12.5	
17	西野 康造	アルトサックス	1988	ステンレス	70×12×34	第32回中原悌二郎賞優秀賞代替

3 旭川彫刻フェスタ 20 周年記念展

■会期 令和 4 年 7 月 16 日（土）～令和 4 年 8 月 28 日（日）

- 開催日数 44 日間
- 展示作品数 33 点
- 観覧者数 1,085 名（一般 602 人／高校生 7 人／中学生以下 126 人／70 歳以上市民 41 人／免除 309 人）

旭川彫刻フェスタ 20 周年の節目に当たり、これまでの歩みを振り返るとともに今後の展望を期して、公開制作に参加した 14 作家の作品を一堂に展示する記念展を開催した。

4 企画展「生誕 100 年 藤川叢三展」

- 会期 令和 4 年 9 月 9 日（金）～令和 5 年 2 月 5 日（日）
- 開催日数 124 日間
- 展示作品数 33 点
- 観覧者数 1,387 名（一般 777 人／高校生 8 人／中学生以下 276 人／70 才以上市民 20 人／免除 306 人）

旭川生まれの彫刻家・藤川叢三（本名・基（もと）い）の生誕 100 年を記念し、その活動を振り返る展覧会を開催した。

藤川は、旭川市立青雲小学校と北海道庁旭川商業学校を経て、東京美術学校（現・東京藝術大学）彫刻科塑像部で彫刻を学んだ。大学卒業後の数年間を野幌煉瓦株式会社や北海道開発株式会社などの工芸部門で過ごしテラコッタを手がけた後、1951 年からは北海道学芸大学札幌分校（現・北海道教育大学札幌校）で彫塑の教官となり、1985 年に退官するまで 35 年に渡って後進の指導に尽力した。



チラシ

制作においては、1962 年に文部省在外研究員として 2 年間イタリアに派遣され、ミラノのアカデミア・ブレラでマリノ・マリーニに師事したことが転機となり、服を脱ぐ様など日常の中にある何気ない仕草を大胆なボリュームの取扱いによるデフォルメを効かせた造形で表し、生命のもつ暖かみや豊かさを表現するようになった。塑像彫刻と並行してテラコッタやリトグラフなどにも精力的に取り組んでおり、鮮やかな色使いを見せる魅力的な作品を数多く残している。

当館が収蔵している藤川叢三作品群は、作品の散逸を防ぐために藤川没後の 2000 年に教え子や同僚たちが中心となって発足した「藤川叢三作品を守る会」が整理したものを御遺族から受贈し、当館が保管に努めているものである。本展では、これらの作品の中から、最初期から留学後にかけての彫刻、着色されたテラコッタや版画などによって、藤川叢三の創作活動の歩みを紹介した。

展示目録					
	作者名	作品名	制作年	材質	寸法（高×幅×奥行 cm）
【ブロンズ彫刻】					
1	藤川 叢三	横たわる裸婦1	1963頃	ブロンズ	8.5×32.5×10.5
2	藤川 叢三	立像1	1964	ブロンズ	29.5×10.2×5
3	藤川 叢三	立像10	1966頃	ブロンズ	60×22.6×14.2
4	藤川 叢三	坐像6	1967頃	ブロンズ	27.5×14.4×26.2
5	藤川 叢三	坐像7	1967頃	ブロンズ	27.4×10.5×18.9
6	藤川 叢三	坐像8	1967	ブロンズ	31×17.7×24.7
7	藤川 叢三	坐像9	1967頃	ブロンズ	27.7×16.4×24.2
8	藤川 叢三	坐像12	1967頃	ブロンズ	31×25.2×18.9
9	藤川 叢三	坐像13	1967頃	ブロンズ	40.5×23.7×18.7
10	藤川 叢三	立像9	1967	ブロンズ	48.3×16×12.3
11	藤川 叢三	坐像15	1968	ブロンズ	42.7×37.9×43.3
【テラコッタ】					
12	藤川 叢三	少女像	1950代	テラコッタ	21×20×20
13	藤川 叢三	テラコッタ1	1975	テラコッタ	32×22×19
14	藤川 叢三	テラコッタ5	1975	テラコッタ	57×38×15
15	藤川 叢三	テラコッタ6	1975	テラコッタ	58×35×16
16	藤川 叢三	テラコッタ7	1976	テラコッタ	47.3×27×10
17	藤川 叢三	テラコッタ8	1976	テラコッタ	58.8×42.5×18
18	藤川 叢三	テラコッタ9	1976	テラコッタ	64×42×16
19	藤川 叢三	テラコッタ10	1976	テラコッタ	72×47×29
20	藤川 叢三	テラコッタ13	1979	テラコッタ	61×26×16
21	藤川 叢三	テラコッタ14	1979	テラコッタ	58×28×11.5
【版画・素描等】					
22	藤川 叢三	自画像	1940代	カンバス、油彩	40.3×31.9
23	藤川 叢三	イタリアの風景	1963	紙、ペン、インク、ボールペン	38.4×49
24	藤川 叢三	素描13	1967	紙、墨、ペン	54.5×38.2
25	藤川 叢三	リトグラフ5	1968	紙、リトグラフ、シルクスクリーン	56.8×38.2
26	藤川 叢三	リトグラフ11	1972	紙、リトグラフ	65×49.9
27	藤川 叢三	リトグラフ15	1973	紙、リトグラフ	64.8×50
28	藤川 叢三	リトグラフ22	1973	紙、リトグラフ	65×49.5
29	藤川 叢三	リトグラフ19	1974	紙、リトグラフ	65.8×50.8
30	藤川 叢三	コラージュ14	1975	紙、コラージュ、パステル、水彩	50×64.3
31	藤川 叢三	コラージュ15	1975	紙、コラージュ、パステル、水彩	64.3×50
32	藤川 叢三	テラコッタのための素描1	1975	紙、リトグラフ	54.2×39.6
33	藤川 叢三	リトグラフ53	制作年不詳	紙、リトグラフ	54.6×45.5

5 企画展「触覚空間を描く－彫刻家のデッサン－」

■会期 令和5年2月11日（土）～令和5年5月28日（日）
 会期延長 令和5年5月30日（火）～ 令和5年7月31日（月）

会期再延長 令和5年8月1日（火）～ 令和5年10月15日（日）

■開催日数 221日間

■展示作品数 33点

■観覧者数 2,906名（一般2,127人／高校生29人／中学生以下281人／
70才以上市民85人／免除384人）

「彫刻とは、根本的には触覚空間の芸術である。彫刻空間とは、触覚空間であるとも言える。

私たちは対象に手をのばし、対象を手さぐる。陶器、ガラスに私たちはそのもののオブジェ感を知る。茶碗やコップの機能的な外観の美しさより、彫刻家にとって、これが第一義的な美の要素たりうる。」

（『柳原義達美術論集 孤独なる彫刻』より）



ポスター

戦後の日本彫刻界を牽引した一人である柳原義達が語るように、彫刻家は自身の触覚を拠り所として作品を作り上げている。そのため、彫刻家の素描は、対象の形態や動勢を把握するために習作的に描いたものも、彫刻作品の構成を練るために描いたものについても、どれも極めて触覚的であり、描かれた対象の表面の質感や奥行き感を強く感じさせるものとなっている。彫刻家の素描のそのような特徴は、三次元の世界を二次元の中に取り込もうとする画家の素描とは感覚的な相違を伴っており、独自の様相を見せる。

「触覚空間」という言葉で彫刻家の感覚を示した柳原義達は、自宅で鳩を飼って素描を繰り返し、瞬間的な仕草やその際の身体の構造の把握に努めながら、鳩をモチーフとした一連の彫刻作品を制作した。その素描は、短いストロークを無数に重ねる手法で描かれており、空気を含んだ羽のふわりとした軽い手触りを思わせるものとなっている。

本展では、彫刻美術館が収蔵する彫刻家の平面作品の中から、コンテや鉛筆などを駆使して描かれた彫刻家の触覚的感覚に秀でた素描作品を紹介した。

展示目録					
	作者名	作品名	制作年	材質	寸法（高×幅×奥行 cm）
1	柳原 義達	鳩	1989	紙, ペン	31.8×40.6
2	柳原 義達	女性像	2001	紙, クレパス, サインペン	35×25.1
参考	柳原 義達	道標・鳩	1974	ブロンズ	41×50×28
3	清水 良治	横の人	不詳	紙, 鉛筆	32.1×40.7
4	加藤 顕清	コタンのメノコ	不詳	紙, 茶コンテ	29.7×22
5	加藤 顕清	女の顔	不詳	紙, 茶コンテ	35.5×29.8
参考	加藤 顕清	ロシア人の首	1965	ブロンズ	39×25×33
6	佐藤 忠良	俯せる裸婦	1972	紙, チャコール	21.7×33.5
参考	佐藤 忠良	カンカン帽	1975	ブロンズ	60×51.5×40
7	池田 宗弘	街道の木	1994	紙, 鉛筆	54×39
8	山本 正道	境川沿いの林	1990	紙, 鉛筆	24×33
9	山本 正道	樹と少女	1989頃	紙, 鉛筆, 木炭	20.5×28.8
10	岩野 勇三	少女の顔	不詳	紙, 木炭	38×27
11	岩野 勇三	女 I	不詳	紙, コンテ	38×27.2
参考	岩野 勇三	なほ	1983	ブロンズ	128×48×50
12	加藤 昭男	猫とかまきり	2000	紙, パステル, 鉛筆	54×40
13	加藤 昭男	バッタの仲間	2001	紙, パステル, 鉛筆	55×39
参考	加藤 昭男	バッタの仲間	2001	ブロンズ	58×37×30
14	橋本 裕臣	雲に出会って	2003	ワトソン紙, 色墨	79×55
15	橋本 裕臣	雲に乗った	2003	ワトソン紙, 色墨	79×55
16	植松 奎二	浮く石	2013	紙, 鉛筆	57×77
17	植松 奎二	3つのかたちー垂	2004	紙, 鉛筆	77×57.5
18	江口 週	抱擁のコンポジション	1990	紙, 鉛筆, 水彩	76×55
19	江口 週	梁の祭壇	1991	紙, 鉛筆, 水彩	56×76.5
参考	江口 週	漂流と原型'77-M-2	1977	桜	34×80×26
20	桜井 祐一	レダ	1976	紙, 鉛筆	41.5×32
21	桜井 祐一	レダ（背面）	1976	紙, 鉛筆	41.5×32
参考	桜井 祐一	レダ	1976	ブロンズ	110×60×115
22	桜井 祐一	はじらい	1965	紙, コンテ	37.5×26
23	古郡 弘	袍衣	2006	紙, 鉛筆	79×54.5
24	井田 勝己	時を渡る橋	2001	アルシュ紙, 木炭	75×105
25	西 雅秋	innocence-MIZU	1991	紙, 木炭, 墨	58×77
26	西 雅秋	innocence-Hi	1991	紙, 木炭, 墨	77×58

II 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館ステーションギャラリー（分館）

彫刻のまちとして知られる旭川の魅力を来訪者に広く紹介すると共に、彫刻美術館本館への訪問や野外彫刻鑑賞のきっかけとすることを目的として、平成24年度にオープンした。

砂澤ビッキ＜カムイミントラ＞を常設展示するほか、旭川と旭川ゆかりの彫刻家の作品等、彫刻美術館所蔵作品による企画展を年に数回開催している。

1 企画展「樹木との対話-北の彫刻家たち-展」

- 会期 令和4年2月26日（土）～令和4年5月29日（日）
- 開催日数 80日間
- 展示作品数 16点
- 観覧者数 1,705名（一般1,561人／高校生以下144人／団体0人）

旭川市彫刻美術館が収蔵する約1,200点超の彫刻・平面作品の中から、北海道の彫刻家による木彫作品を取り上げ紹介するとともに、開館10周年を迎えた中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館ステーションギャラリーのこれまでの企画展示の歩みをパネルで紹介。



ポスター

展示目録						
	作者名	作品名	制作年	材質	寸法（高×幅×奥行 cm）	備考
1	板津 邦夫	星と月と太陽	2005	紙、木版画	46.7×38.2	
2	板津 邦夫	星と月と	1972	イチイ	41×20×7	
3	板津 邦夫	風神・雷神	1994	木版	52.2×34	
4	板津 邦夫	'93 風神・雷神	1993	クルミ（着色）	182.5×60.5×42.5	
5	板津 邦夫	「北の歳時記」より初夏	1990	クルミ（着色）	189×43×40	
6	長澤 裕子	カゼノコエヲキケ	2008	ミズナラ	140×70×70	2点組
7	砂澤 ビッキ	カムイミンダラ	1977	セン	116×338×69	
8	砂澤 ビッキ	樹鈴	1977	セン	49.5×28.5×12.3	
9	砂澤 ビッキ	樹蝶	1977	セン	86×120×18	
10	砂澤 ビッキ	樹蛙	1977	セン	174×71×17	
11	本田 明二	えものを背負う男	—	木	121×61×23	
12	本田 明二	けものを背負うノチクサ	1981	木	195×83×55	
13	本田 明二	マント・風	1985	木	137×49×40	
14	本田 明二	うずくまる裸婦	1979	木	128×52×56	
15	本田 明二	仔馬	—	木	70×50×20	
16	本田 明二	馬	1971	木	120×70×35	

2 企画展「生き続けるモダニズム建築」展

- 会期 令和4年6月3日（金）～令和4年7月3日（日）
- 開催日数 31日間
- 観覧者数 1,279名（一般1,135人／高校生以下40人／団体104人）
- 主催 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館、公益社団法人 日本建築家協会北海道支部旭川地区会
- 協力 公益社団法人 日本建築家協会北海道支部道東地区会、公益社団法人 日本建築家協会北海道支部函館地区会、建築模型製作所ブロック・エム

本展では、「構造的な改修」や「機能の更新」を施すことで、元来の建築的な質と空間的魅力を保ちつつ再生され時代を超えて生き続けている国内外のモダニズム建築の事例を写真と解説パネルなどで紹介した。

3 旭川彫刻フェスタ 20 周年記念展

- 会期 令和4年7月16日（土）～令和4年8月28日（日）
- 開催日数 44日間
- 展示作品数 21点
- 観覧者数 1,357名（一般1,249人／高校生以下108人／団体0人）

旭川彫刻フェスタ 20 周年の節目に当たり、これまでの歩みを振り返るとともに今後の展望を期して、公開制作に参加した 14 作家の作品を一堂に展示する記念展を開催した。

4 企画展「デザインの原形～プリミティブからデザインへ～」

- 会期 令和4年9月6日（火）～令和4年11月13日（日）
- 開催日数 54日間
- 展示作品数 154点
- 観覧者数 1,512名（一般1,415人／高校生以下97人／団体0人）
- 主催 旭川市教育委員会
- 主管 旭川家具工業協同組合
- 協力 織田憲嗣、織田コレクション協力会、東川町

本展では、これまで織田氏が収集してきたプリミティブな家具や日用品群を中心に展示した。

5 企画展「生誕 100 年 藤川叢三展」

- 会期 令和4年11月19日（土）～令和5年1月15日（日）
- 開催日数 45日間
- 展示作品数 23点
- 観覧者数 869名（一般777人／高校生以下92人／団体0人）

旭川生まれの彫刻家・藤川叢三（本名・基(もと)い）の生誕 100 年を記念し、その活動を振り返る展覧会を開催した。

当館が収蔵している藤川叢三作品群は、作品の散逸を防ぐために藤川没後の



ポスター

2000年に教え子や同僚たちが中心となって発足した「藤川叢三作品を守る会」が整理したものを御遺族から受贈し、当館が保管に努めている。

本展では、これらの作品の中から、札幌・大通公園に設置されている有島武郎文学碑のための素描や横臥のポーズの連作、リトグラフなど藤川叢三の多彩な仕事を紹介した。

展示目録					
	作者名	作品名	制作年	材質	寸法（高×幅×奥行 cm）
【ブロンズ彫刻】					
1	藤川 叢三	横たわる裸婦3	1963頃	ブロンズ	12.6×33.2×16.9
2	藤川 叢三	春	1965	ブロンズ	26.7×49.7×13.9
3	藤川 叢三	夏	1965	ブロンズ	22.4×49.3×12.4
4	藤川 叢三	秋	1965	ブロンズ	26.4×51.8×15
5	藤川 叢三	坐像14	1969	ブロンズ	69.4×22.9×40.8
6	藤川 叢三	立像20	1971	ブロンズ	71.7×26.7×23.6
【版画・素描等】					
7	藤川 叢三	有島文学碑のための素描2	1961頃	紙、鉛筆、水彩	37.8×54.1
8	藤川 叢三	有島文学碑のための素描3	不詳	紙、木炭	135.0×109.4
9	藤川 叢三	素描1	1965	紙、コラージュ、木炭	41.2×36.5
10	藤川 叢三	素描3	1966	紙、サインペン、墨	54.8×39.4
11	藤川 叢三	リトグラフ3	1968	紙、リトグラフ	52.4×43.2
12	藤川 叢三	リトグラフ6	1969	紙、リトグラフ	47.8×61
13	藤川 叢三	リトグラフ8	1969	紙、リトグラフ	65×50
14	藤川 叢三	リトグラフ10	1970	紙、リトグラフ	39.6×58
15	藤川 叢三	リトグラフ18	1973	紙、リトグラフ	50.5×65.5
16	藤川 叢三	リトグラフ25	1975	紙、リトグラフ	40×44.5
17	藤川 叢三	コラージュ12	1977	紙、コラージュ、パステル	65×49.8
18	藤川 叢三	コスモス	1980	紙、パステル	45×37.7
19	藤川 叢三	ななかまど	1980	紙、パステル	31.4×32.2
20	藤川 叢三	フリージア	1980	紙、パステル	32×31.3
21	藤川 叢三	リトグラフ32	1980	紙、リトグラフ	62.3×50
22	藤川 叢三	リトグラフ35	1982	紙、リトグラフ	65×50
23	藤川 叢三	リトグラフ49	不詳	紙、リトグラフ	44.5×34.2

6 企画展「ひろげて、座って、おりたたむ 世界のフォールディングチェ

アー織田コレクションからー」

■会期 令和5年1月21日（土）～令和5年3月12日（日）

■開催日数 44日間

■観覧者数 990名（一般939人／高校生以下51人／団体0人）

■主催 旭川市教育委員会

■主管 旭川家具工業協同組合

■協力 織田憲嗣、織田コレクション協力会、東川町

織田コレクションから生活の中の名脇役と呼ぶにふさわしい、機能性と操作性、そしてデザイン性に優れたフォルディングチェアを紹介した。

7 企画展「彫刻家による版画の世界」

- 会期 令和5年3月18日（土）～令和5年5月7日（月）
- 開催日数 44日間
- 展示作品数 35点
- 観覧者数 1,076名（一般994人／高校生以下82人／団体0人）

優れた彫刻家たちの多くが彫刻制作の傍らでそれぞれの芸術観を投影した版画制作も手がけており、魅力に富んだ版画作品を制作している。本展では本館が蒐集してきた彫刻家による版画作品の中から、版制作の特徴が作品世界に顕著に現れている作品を紹介した。



ポスター

展示目録					
	作者名	作品名	制作年	材質	寸法（高×幅×奥行 cm）
【凸版画（木版画）】					
1	空 充秋	生きる	1991	木版	63.5×47
2	空 充秋	仁王	1991	木版	63.5×47
3	池田 宗弘	<イエズス・キリストの御苦しみの道> 第13画	1999	紙, 木版画	46.8×31.9
4	池田 宗弘	<イエズス・キリストの御苦しみの道> 第14画	1999	紙, 木版画	46.8×31.9
5	舟越 桂	蒼い湖	1997	木版	34.8×25.2
参考	舟越 桂	そこだけの冬	1997	楠に彩色, 大理石, プリキ	87×37×38
6	板津 邦夫	雪の精	2006	紙, 木版	41×32
7	板津 邦夫	雲と山	2005	紙, 木版	43.7×35
8	板津 邦夫	王と王妃	1981	木版	39.3×29.2
9	板津 邦夫	草と月	2004	紙, 木版	33×23.8
10	板津 邦夫	風神・雷神	1994	木版	52.2×34
参考	板津 邦夫	'93風神・雷神	1993	クルミ（着色）	182.5×60.5×42.5
参考	板津 邦夫	「北の歳時記」より初夏	1990	クルミ（着色）	189×43×40
【平版画（リトグラフ）】					
11	岩野 勇三	ハバロフスクにて	不詳	リトグラフ	54.8×39
12	藤川 叢三	リトグラフ15	1973	紙, リトグラフ	64.8×50
13	高橋 清	親和（Intimidad-No.23）	1975	紙, リトグラフ	74×54
14	高橋 清	トラロックと人	1971	紙, リトグラフ	65×50
15	木内 克	猫	不詳	リトグラフ	26.4×36.8
16	木内 克	女と猫	1963	リトグラフ	50×39
参考	木内 克	坐裸婦	1960	ブロンズ	55×37×34
【孔版画（シルクスクリーン）】					
17	小田 襄	円と方形 90-5	1990	シルクスクリーン+手彩色9色	32.4×25
18	小田 襄	円と方形 90-8B	1990	シルクスクリーン+手彩色5色	36.5×28.7
19	小田 襄	円と方形 96-2	1996	シルクスクリーン+手彩色	40×30.8
参考	小田 襄	円柱と方形の要素	1979	ステンレススチール	99×26×23
【凹版画（エッチング）】					
20	舟越 桂	教会とカフェのためにⅠ	1987	紙, エッチング	14.7×9.6
21	舟越 桂	教会とカフェのためにⅡ	1987	紙, エッチング	14.7×9.6
22	舟越 桂	静かな鏡のために	1987	紙, エッチング	14.6×9.7
参考	舟越 桂	点の中の距離	2003	楠に彩色, 大理石	91×55×30
23	掛井 五郎	花・花	1993	エッチング	14.8×9.8×6点
24	掛井 五郎	猫の孤独 さびしい	1991	エッチング	36.5×36.5
25	掛井 五郎	猫の孤独 おいしい	1991	エッチング	36.5×36.5
26	向井 良吉	トンボ眼鏡のトランペットとバンジョー	1980	エッチング	6.7×11.2
27	向井 良吉	鶏に化けたタンバリン	1980	エッチング	8.6×8.8
28	青木 野枝	亀池・蓮池1	1997	紙, エッチング, アクアチント, ドライポイント	55×65
29	青木 野枝	亀池・蓮池7	1997	紙, エッチング, ドライポイント	55×65

教育普及活動

1 旭川彫刻散歩

市民が彫刻に親しむ機会を設け、彫刻に対する理解を深めてもらうことを目的に実施している。令和4年度は、講師

の解説を聞きながら、彫刻美術館及び彫刻美術館ステーションギャラリーで開催中の「旭川彫刻フェスタ 20 周年記念展」と、忠別橋公園に設置されている彫刻作品を鑑賞した。

■開催日 令和 4 年 8 月 21 日（日）

参加者数 7 人

■見学場所 忠別橋公園・彫刻美術館ステーションギャラリー・彫刻美術館

■講師 藤井 忠行氏（彫刻家）



旭川彫刻散歩

2 こども工作ワークショップ

「はらぺこビックリ！なんちゃってお弁当」

こどもたちが様々な工作技法を活用してお弁当制作の工作を行った。

■開催日 令和 4 年 11 月 20 日（日）

■主催 旭川大学短期大学部椎名ゼミナール

■会場 彫刻美術館研修室

■講師 旭川市立大学短期大学部椎名澄子氏

3 こども彫刻教室

（１）「したからそうぞうするかたち○△□」

端材をグルーガンで接着して形を組み上げ、自由にオブジェ作品を制作した。

■開催日 令和 4 年 7 月 30 日（土）、8 月 5 日（金）午前 10 時～午前 12 時

参加者数 30 日：14 名（こども 7 名、保護者等 7 名）

5 日：11 名（こども 7 名、保護者等 4 名）

■会場 彫刻美術館研修室

■講師 岩永 啓司氏（北海道教育大学旭川校准教授）



こども彫刻教室（１）

（２）「フクロウの木のしおり」

フクロウ型の木の板を彫刻刀で彫ったり、色を塗ったりしてしおりを制作。

■開催日 令和 4 年 12 月 3 日（土） 午前 10 時～正午

参加者数 15 名（こども 9 名、保護者等 6 名）

■会場 彫刻美術館研修室



こども彫刻教室（２）

■講師 菅野 秀雄氏（木彫家）

彫刻巡回展示事業

当館が収蔵する彫刻作品を、より多くの児童生徒及び保護者や地域の方々が身近なところで鑑賞する機会を提供し、彫刻への理解を深め、「彫刻のまち旭川」を広く知ってもらうことを目的として、平成 14 年度から本事業を毎年実施している。

なお、平成 22 年度からは市内小中学校に加え、特別支援学校も対象として募集している。

また、彫刻巡回展示実施校を対象に、旭川地域連携アートプロジェクトによる事業の一環として、当館職員等が出向いて彫刻巡回展示の作品を利用した「出前授業」を平成 21 年度から実施している。

※旭川地域連携アートプロジェクト……北海道教育大学旭川校造形教育研究室の呼びかけにより平成 21 年 2 月に発足。

旭川市教育研究会図工・美術部の教員・北海道立旭川美術館（彫刻巡回展示事業には不参加）・旭川市彫刻美術館の 4 者が連携し、美術館を中心とした鑑賞教育の実践や教育普及活動に広く取り組んでいる。

■展示実施校 市内小中学校（4 校×3 期＝12 校 総児童生徒数 1,915 人）

■展示期間 第Ⅰ期 （中止）

第Ⅱ期 （中止）

第Ⅲ期 令和 4 年 9 月 15 日（木）～令和 4 年 10 月 13 日（木）

第Ⅳ期 令和 4 年 10 月 13 日（木）～令和 4 年 11 月 10 日（木）

第Ⅴ期 令和 4 年 11 月 10 日（木）～令和 4 年 12 月 8 日（木）

■市有施設展示 学校の夏季休暇期間には、毎年市有施設等に作品を展示し、より広く市民への鑑賞の場になっているが、新型コロナウイルス感染拡大の為、令和 4 年度は展示を中止した。



富沢小学校



新町小学校



中央中学校

■展示作品と展示実施校

グループ	作者名・作品名	第Ⅰ期 6/30(金)～7/28日(木)	市有施設期 7/28(木)～8/18(木)	第Ⅱ期 8/18(木)～9/15(木)	第Ⅲ期 9/15(木)～10/13(木)	第Ⅳ期 10/13(木)～11/10(木)	第Ⅴ期 11/10(木)～12/8(木)
第1グループ 「木内克のどうぶつ展」 5点	木内 克<犬> 木内 克<猫> 木内 克<鷺> 木内 克<アマノアヌ> 木内 克<鳩と鶴> 計5点	(中止)	(中止)	(中止)	朝日小学校	中央中学校	新町小学校
第2グループ 「山内壮夫の世界展 ～具象から抽象へ～」 6点	山内壮夫<踊り子> 山内壮夫<婦人立像(着衣)> 山内壮夫<ソシミの微笑> 山内壮夫<母子像> 山内壮夫<牧神> 計6点	(中止)	(中止)	(中止)	旭川中学校	嵐山小中学校	雨紛小学校
第3グループ 「旭川と彫刻家展 ～具象と抽象～」 4点	加藤順清<馬> 木内 克<人魚> 山内壮夫<鶴の舞> 板津邦夫<星と月と> 計4点	(中止)	(中止)	(中止)	神居中学校	附属小学校	北鎮小学校
第4グループ 「ひと・かたち・いろいろ展」 6点	木内 克<母子像> 木内 克<うなだれた裸婦> 新田 克<青年立像> 藤川巖三<坐像11> 藤川巖三<立像5> 藤川巖三<冬> 計6点	(中止)	(中止)	(中止)	日章小学校	富沢小学校	近文第二小学校

■出前授業実施校

出前授業実施校			
実施日	実施校	対象	参加人数
9月26日(月)	旭川中学校	第1学年	64人
9月27日(火)、28日(水)	神居中学校	第2、3学年	128人
10月4日(火)	朝日小学校	第5学年	39人
10月19日(水)	嵐山小中学校	中学生第1～3学年	4人
11月16日(水)、24日(木)、28日(月)	新町小学校	第1～6学年	107人
11月18日(金)	雨紛小学校	第1～6学年	9人
11月21日(月)	近文第二小学校	第1～6学年	33人
11月30日(水)	北鎮小学校	第5、6学年	116人

中原悌二郎賞関係事業

本市では、1970(昭和45)年に中原悌二郎賞を創設し、優れた作品を発表した彫刻家に賞を贈り、受賞作品(または代替作品)を収蔵してきた。平成15年度からは隔年で実施するビエンナーレ方式となっており、また、平成21年度からは中原悌二郎賞優秀賞を廃して中原悌二郎賞のみの選考となっている。令和4年度は、令和2年度に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した中原悌二郎賞創設50周年記念講演会を、市制施行100年にあわせて実施した。

中原悌二郎賞創設50周年記念講演会

- 開催日 令和4年10月8日(土)
- 会場 旭川市大雪クリスタルホール国際会議場2階 レセプション室
- 講演者 藤井 匡氏(元宇部市学芸員、現東京造形大学教授、彫刻関連著書多数)



記念講演会

吉崎元章 氏（元札幌芸術の森学芸員、現札幌彫刻美術館長）

寺田 榮 氏（第 34 回中原悌二郎賞優秀賞、前北海道教育大学教育学部旭川校教授、彫刻フェスタ実行委員）

旭川彫刻フェスタ

平成 12 年度に彫刻にもっと親しんでもらおうと、市内の各界の代表からなる旭川彫刻フェスタ実行委員会が組織され、「旭川彫刻フェスタ」を開催している。本市は、本事業が彫刻のまちづくりを推進していく上で極めて意義のあるものと捉え、負担金を支出している。令和 4 年度は、令和 2 年度に 20 周年を迎えた旭川彫刻フェスタの歩みを振り返るとともに、これからの「彫刻フェスタ」のあり方を展望するため、これまでに「旭川彫刻フェスタ」の公開制作に参加された彫刻作家の作品を一堂に展示する記念展を開催した。

旭川彫刻フェスタ 20 周年記念展

- 会期 令和 4 年 7 月 16 日（土）～令和 4 年 8 月 28 日（日）
- 開催日数 44 日間
- 展示作品数 54 点（本館：33 点、ステーションギャラリー：21 点）
- 観覧者数 2,442 名（本館：一般 641 人／高校生 7 人／中学生以下 126 人／免除 311 人 合計 1,085 人
ステーションギャラリー：一般 1,249 人／高校生以下 108 人 合計 1,357 人）

野外彫刻維持管理事業

旭川市が所有する野外彫刻は平成 13 年度から当館が一括管理しており、補修や写真資料作成等の維持管理に当たっている。また、野外彫刻を良好な状態で維持管理することを目的として平成 14 年 7 月に発足した、清掃活動や周辺環境整備などを行うボランティアの会「旭川彫刻サポート隊」の事務局を当館が担当している。

1 彫刻清掃ボランティアの会「旭川彫刻サポート隊」

- 募集方法 令和 3 年度からの継続参加者に加え、市民広報誌上で新規参加者を募集した。
- 総会 例年 5 月中旬に総会を行っているが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策の為、書面会議をした。
- 対象作品 市所有の野外彫刻 74 点（旭川市彫刻美術館前庭展示作品を含む）
- 会員数 99 人（令和 5 年 3 月 31 日現在）
- 会報等 会報「かふかす」旭川彫刻サポート隊 20 周年特別記念号の発行

2 その他の野外彫刻清掃

- 旭川市立中央中学校 旭川市立中央中学校 1 学年の「総合的な学習時間」の一環として、買物公園や常磐公園にある野外彫刻の清掃活動を行った。
- 実施日 令和 4 年 7 月 21 日（木）
- 参加者数 生徒数約 100 名・教員若干名・彫刻美術館 3 名
- 清掃作品 市中心部設置作品 24 点

その他の事業

1 文化の日イベント 施設無料開放日

文化の日のイベントとして、施設の無料開放を行った。

印刷物の発行

印刷物名	判型	発行部数	発行年月
旭川野外彫刻たんさくマップ 2023 年版	A2 判変形両面 2c	2、000	R5.2

中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館協議会

中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館協議会は、旭川市彫刻美術館条例によって設置を定められており、10 人の委員によって構成されている。令和 3 年度は会議を開催し、当館運営について必要な事項の協議のほか、貴重な意見が数多く提起された。

■委員名簿（任期：令和 4 年 6 月 1 日～令和 6 年 5 月 31 日）

会長	南部 正人	副会長	藤井 忠行			
委員	石塚 睦	西村 徳清	梶浦 仁	山下 真実	村田 典子	
	弦間 信	水田 恵學	石浦 晃久（R4.9.8 退任）	間藤 洋子（R5.4.1～R6.5.31）		

■開催状況

開催日 令和 4 年 9 月 7 日（水）

内容 1 令和 3 年度事業報告について
2 令和 4 年度事業計画（案）について

管理作品

当館では、中原悌二郎の現存する全 12 作品をはじめ、中原に大きな影響を与えたロダンや萩原守衛、中原の友人であ

った石井鶴三や堀進二ら近代彫刻の作品、歴代の中原悌二郎賞受賞作家の作品、北海道と旭川にゆかりの深い加藤顕清、山内壮夫らの作品について、彫刻及び平面作品を収蔵している。これらの収蔵作品は、近代から現代へと至る日本彫刻界の変遷を通観できる充実したものとなっている。

■管理作品内訳（令和 5 年 3 月 31 日現在）

管理作品総数 1,298 点

1 収蔵作品 1,226 点

（1） 彫刻作品 325 点

ア 中原悌二郎作品 12 点

イ 中原悌二郎賞受賞作品 80 点

ウ 木内克作品 78 点

エ 加藤顕清作品 18 点

オ 山内壮夫作品 27 点

カ 藤川叢三作品 36 点

キ その他の作品 74 点

（2） 素描・版画等平面作品 901 点

2 野外彫刻作品 72 点

1 令和 4 年度新管理作品

なし

2 貸出し作品等

（1）展覧会等への貸出し

展覧会名	貸出し先	作者名	作品名	貸出し期間
「旭川の美術 100 年」展 会 期 R4.7.9 ～ R4.9.4	北海道立旭川美術館 (旭川市常磐公園内)	オーギュスト・ロダン	ジャン・デールの裸体習作	R4.7.3～R4.9.9
		萩原守衛	坑夫	
		中原悌二郎	平櫛田中像	
		舟越保武	原の城	
		柳原義達	道標・鳩	
		佐藤忠良	カンカン帽	
		建畠覚造	CLOUD-4	
		舟越桂	そこだけの冬	
		吾妻兼治郎	YU-847	
		舟越桂	点の中の距離	
		保井智貴	Untitled	
		戸谷成雄	漢詩的-II	

		三沢厚彦 中原悌二郎 加藤顕清 砂澤ビッキ 砂澤ビッキ 砂澤ビッキ	Animal 2017-05 三宅辨次郎像 コタンのアイヌ 樹蝶 樹鮭 樹鈴	
「アートギャラリー 北海道 没後 100 年 中原悌二郎展」 会 期 R4.7.10 ～ R4.8.21	北海道立近代美術館 (札幌市中央区北 1 条西 17 丁目)	中原悌二郎 中原悌二郎 中原悌二郎 中原悌二郎 中原悌二郎 中原悌二郎 中原悌二郎 中原悌二郎 中原悌二郎 戸張古雁 石井鶴三 堀進二	忠別小学校 櫛引英一像 飯田復鹿像 女の顔 老人 エチュード 保田龍門像 石井鶴三像 墓守老人像 乞食老人像 虚無 中原氏像 中原悌二郎像	R4.7.5～R4.8.29
「生誕 100 年 藤川 叢三展」 会 期 R4.6.11 ～ R4.8.31	本郷新記念札幌彫刻 美術館 本館 (札幌市中央区宮の 森 4 条 12 丁目)	藤川叢三 藤川叢三 藤川叢三 藤川叢三 藤川叢三 藤川叢三 藤川叢三 藤川叢三 藤川叢三 藤川叢三 藤川叢三 藤川叢三 藤川叢三 藤川叢三 藤川叢三 藤川叢三 藤川叢三 藤川叢三 藤川叢三	少女像 立像 1 横たわる裸婦 1 春 夏 秋 坐像 8 坐像 12 坐像 13 立像 10 坐像 15 坐像 14 立像 20 テラコッタ 1 テラコッタ 5 テラコッタ 6 テラコッタ 8	R4.5.27～R4.9.6

		藤川叢三	テラコッタ 13	
		藤川叢三	テラコッタ 14	
		藤川叢三	自画像	
		藤川叢三	坐像の素描 1	
		藤川叢三	有島武郎文学碑のための素描	
		藤川叢三	イタリアの風景	
		藤川叢三	Guiliano e Massimo	
		藤川叢三	素描 1	
		藤川叢三	素描 2	
		藤川叢三	リトグラフ 1	
		藤川叢三	リトグラフ 5	
		藤川叢三	リトグラフ 8	
		藤川叢三	リトグラフ 18	
		藤川叢三	リトグラフ 20	
		藤川叢三	リトグラフ 19	
		藤川叢三	リトグラフ 22	
		藤川叢三	リトグラフ 23	
		藤川叢三	テラコッタのための素描 1	
		藤川叢三	リトグラフ 35	
		藤川叢三	対話 19 亡き兄に捧ぐ 「レクイエム」	
		藤川叢三	トッカータ第 1 番	

(2) 公共施設等における展示

(彫刻巡回展示事業での展示については p.15 に掲載)

展示施設	展示場所	作者名	作品名	展示期間
旭川市民文化会館	ロビー	木内 克	母子像	R4.4.1～R5.3.31
旭川市大雪クリスタルホール	1 階ロビー	佐藤 忠良	帽子・立像	R4.4.1～R5.3.31
		井上 武吉	my sky hole 91-6-2	R4.4.1～R5.3.31
		山内 壮夫	鶴の舞	R4.4.1～R5.3.31
		森川 亮輔	空域 No.2	R4.4.1～R5.3.31
		木内 克	エーゲ海に捧ぐ	R4.4.1～R5.3.31
旭川市東光図書館	閲覧コーナー	佐藤 忠良	三浦綾子	R4.4.1～R5.3.31
永山市民交流センター	ロビー	井田 勝己	月に向かって進め	R4.4.1～R5.3.31

旭川市東旭川公民館（本館）	1 階ロビー	木内 克	母子像	R4.4.1～R5.3.31
旭川市中央図書館	2 階ロビー	木内 克	人魚	R4.4.1～R5.3.31
		山内 壮夫	うずくまる	R4.4.1～R5.3.31
	1 階ロビー	田村 審火	舞踏構想 S	R4.4.1～R5.3.31
JR 旭川駅	北側通路	江口 週	繋がれたアーチ	R4.4.1～R5.3.31
		若林 奮	DaisyⅢ-2	R4.4.1～R5.3.31
	西コンコース	安田 侃	天秘	R4.4.1～R5.3.31
	東口	神田比呂子	Le Lac	R4.4.1～R5.3.31
旭川市総合庁舎	2 階秘書課応接室	加藤 顕清	女の首	R4.4.1～R5.3.31

ボランティアの会「みゅうず」

ボランティアの会「みゅうず」は、彫刻美術館の運営を支援する目的で平成 6 年 6 月、当館のオープンに合わせて美術好きの市民らによって創設された。現在は 40 人程度の会員を擁し、館内ラウンジに喫茶・物販コーナーを設置している。また、美術館の鑑賞研修などに取り組んでいるほか、当館の事業にも積極的に参加している。

「みゅうず」が運営する喫茶コーナーは来館者の憩いの場となっており、コーヒー、紅茶などをメニューとして美味しくて安いと好評を得ている。

また、ミュージアム・グッズとして、中原悌二郎関係の書籍、当館収蔵作家の作品集、オリジナルの絵葉書などのほか、木内克や加藤昭男制作のペンダント、佐藤忠良制作のブローチ、池田宗弘制作の栓抜きなどを販売している。

観覧者数

1 彫刻美術館年度別観覧者数の推移

（単位：人）

	一 般	高校生	中学生以下	70 歳以上市民	免 除	年度計
平成 6 年度	18,432	336	2,986		3,956	25,710
平成 7 年度	13,065	139	2,735		3,952	19,891
平成 8 年度	13,970	285	3,063		3,346	20,664
平成 9 年度	14,075	207	2,422		2,864	19,568
平成 10 年度	18,495	692	2,107			21,294
平成 11 年度	16,817	176	2,238			19,231
平成 12 年度	15,915	298	2,163			18,376
平成 13 年度	15,375	160	2,284			17,819
平成 14 年度	15,014	178	1,910			17,102
平成 15 年度	16,210	333	1,611			18,154

平成 16 年度	10,886	346	1,808			13,040
平成 17 年度	10,944	96	1,608			12,648
平成 18 年度	4,937	90	1,408		2,195	8,630
平成 19 年度	5,065	67	1,794		2,894	9,820
平成 20 年度	4,653	39	1,273		2,289	8,254
平成 21 年度	3,825	29	1,336		2,000	7,190
平成 22 年度	4,048	62	1,559		1,856	7,525
平成 23 年度	4,316	93	1,584		2,018	8,011
平成 29 年度	1,135	11	116		3,276	4,538
平成 30 年度	3,028	21	247		1,700	4,996
令和元年度	2,535	21	391		1,281	4,228
令和 2 年度	1,456	20	387		501	2,364
令和 3 年度	1,284	29	465	63	517	2,358
令和 4 年度	2,354	31	716	112	887	4,100

※平成 6 年 6 月 1 日開館 ※平成 10 年度～平成 17 年度は観覧料無料化のため、免除規定を廃止

※平成 24 年 2 月 1 日から長期休館 ※平成 29 年 10 月 8 日より再開館

※令和 2 年 4 月 21 日～令和 2 年 5 月 25 日新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

※令和 3 年 5 月 17 日～令和 3 年 6 月 20 日、令和 3 年 8 月 20 日～令和 3 年 9 月 30 日新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

2 彫刻美術館ステーションギャラリー年度別観覧者数の推移

(単位：人)

	一 般	高校生以下	団 体	年度計
平成 24 年度	15,407	1,538	1,069	18,014
平成 25 年度	8,572	823	843	10,238
平成 26 年度	8,841	788	1,339	10,968
平成 27 年度	7,383	701	707	8,791
平成 28 年度	6,341	511	702	7,554
平成 29 年度	11,781	795	984	13,560
平成 30 年度	9,881	643	385	10,909
令和元年度	7,840	533	452	8,825
令和 2 年度	5,945	494	144	6,583
令和 3 年度	3,725	338	68	4,131
令和 4 年度	6,771	490	137	7,398

※平成 24 年 4 月 21 日開館

※令和 2 年 4 月 21 日～令和 2 年 5 月 25 日新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

※令和 3 年 5 月 17 日～令和 3 年 6 月 20 日、令和 3 年 8 月 20 日～令和 3 年 9 月 30 日新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

3 令和 4 年度 彫刻美術館月別観覧者数

(単位：人)

	一 般	高 校	中学生以下	70 歳以上市民	免 除	月 計	累 計
4 月	134	1	28	5	45	213	213
5 月	209	4	83	19	36	351	564
6 月	195	3	167	9	46	420	984
7 月	301	1	59	14	124	499	1,483
8 月	408	6	81	32	220	747	2,230
9 月	299	2	96	11	61	469	2,699
10 月	244	4	73	10	56	387	3,086
11 月	118	0	88	4	134	344	3,430
12 月	96	1	17	0	56	170	3,600
1 月	60	1	1	2	15	79	3,679
2 月	102	4	2	2	25	135	3,814
3 月	188	4	21	4	69	286	4,100
合 計	2,354	31	716	112	887	4,100	4,100

4 令和 4 年度 彫刻美術館ステーションギャラリー月別観覧者数

(単位：人)

	一 般	高校生以下	団 体	月 計	累 計
4 月	411	30	0	441	441
5 月	610	43	17	670	1,111
6 月	1,004	30	104	1,138	2,249
7 月	527	44	0	571	2,820
8 月	837	74	16	927	3,747
9 月	587	33	0	620	4,367
10 月	611	44	0	655	5,022
11 月	435	60	0	495	5,517

12 月	406	37	0	443	5,960
1 月	291	23	0	314	6,274
2 月	526	30	0	556	6,830
3 月	526	42	0	568	7,398
合 計	6,771	490	137	7,398	7,398

【職員名簿】

彫刻美術館長 山脇 雄一

職員 高橋 伸 須藤 知美 朝倉 惇也

会計年度任用職員 石川 知佳 富田 千香子 井田 千賀 梅村 由佳 関口 佳苗

二階堂 智美 前田 洋美 東 ちぐさ 古田 佐登美 信木 恵子

木戸 美千代 佐藤 まち子 中山 富美代 福井 志津子 藤田 則子

ステーションギャラリー

会計年度任用職員 三浦 美津子 渡邊 大輔 清水 由香里 坪 みゆき 徳重 弘美

松村 有希子 岩本 優子 須田 益枝 八重樫 晶子

令和4（2022）年度

中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館年報

令和7（2025）年2月14日発行

編集・発行 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館

〒070-0875 旭川市春光5条7丁目

TEL 0166-46-6277 FAX 0166-46-6288
